



平成23年度 農林水産省
産地活性化総合対策事業
花き産業活性化事業(花育活動推進事業)

小学校高学年生用

はな いく
花育副読本
(指導案付き)



- 「花育副読本」活用にあたって…………… 1
- 花育副読本①
花いっぱい計画…………… 4
- 花育副読本②
生物のすむ環境づくりをしよう…………… 16
- 花育副読本③
いけばなを楽しもう…………… 28
- 花育副読本④
フラワーコンテナと寄せ植えづくり…………… 40
- 「花育活動図鑑」参考データ集…………… 52

全国花育活動推進協議会

はじめに

花や緑の多様な効能に着目し、花や緑を教育、地域の活動等に取り入れる取り組みである「花育」の推進を図ることは、幼児・児童の成長期において、花と緑に親しみ・育てる機会を提供し、やさしさや美しさを感じる情操面の向上等が図られ、また、地域活動においても、花や緑を介した世代交流により、地域のつながりを深めることが期待されています。

このため、全国花育活動推進協議会は、このような花育の社会的な効果や意義を踏まえ、花き業界関係者、教育関係者、都市緑化関係者及び地方自治体の教育・農林・都市緑化担当部局等と連携を図りつつ、花育活動の取り組みを全国的な運動として推進するために平成20年3月28日に発足し、これまで、花育活動の普及啓発、モデル地区での花育活動、花育アドバイザーの登録・紹介及び花育活動に関するアンケート調査等を実施してきたところであります。

本年度は、農林水産省の平成23年度産地活性化総合対策事業のうち花き産業活性化事業（花育活動推進事業）を活用し、これまでのモデル地区での花育活動の成果を活かしつつ、小学校中高学年生を対象とした授業カリキュラムに即した「花育副読本」を作成しましたので、今後、この副読本が全国の小学校で積極的に活用されて、小学校の教諭と花育アドバイザーとの緊密な連携のもとに効果的な花育活動が展開されることを期待しております。

おわりに、この副読本の作成に当たり、農林水産省生産局並びに花き業界の専門家や教育関係者で構成する花育活動推進検討会及び花育副読本作成小委員会の委員をはじめ多くの方々にご協力・ご指導並びにご執筆いただきましたことに対して厚くお礼申し上げます。

平成24年3月

全国花育活動推進協議会
会長 今西英雄

「花育活動推進検討会」委員

順不同

所属・役職名	氏名	備考
東京テクノ・ホルティ園芸専門学校講師、グリーンアドバイザー	中道 光子	花育実践者
日本ハンギングバスケット協会 理事	山口 まり	花育実践者
日本ハンギングバスケット協会 理事	上田 奈美	花育実践者
株式会社フローレ ツエンティワン	高杉 揚子	花育実践者
公益財団法人日本いけばな芸術協会	新藤 華浩	花育実践者
いけばな草月流	大久保 有加	花育実践者
社団法人日本造園建設業協会 技術調査部長	野村 徹郎	花育実践者
生活科教育研究会 会長	三神 雄司	
元川口短期大学 こども学科 教授	丹伊田 弓子	
元杉並区立桃井第一小学校 教諭	飯田 栄子	
日本教育技術学会 会長	向山 洋一	
日本生活科・総合的学習教育学会 副会長	吉田 豊香	

「花育小学校副読本作成小委員会」委員

所属・役職名	氏名
元川口短期大学 こども学科 教授	丹伊田 弓子
元杉並区立桃井第一小学校 教諭	飯田 栄子
府中市立第十小学校 教諭	鳥居 恵子
杉並区立第八小学校 教諭	畝尾 宏明
公益財団法人日本いけばな芸術協会	新藤 華浩
社団法人日本造園建設業協会 技術調査部長	野村 徹郎

〈協力〉

財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
公益財団法人日本花の会
株式会社日比谷アメニス
株式会社 杜若園芸

〈写真協力〉

東京都世田谷区立東玉川小学校
東京都杉並区立杉並第二小学校
東京都杉並区立杉並第九小学校
東京都府中市立府中第十小学校
埼玉県さいたま市立高砂小学校

副読本活用に当たって

「花育副読本生活科版」をお届けして1年、様々な反響をいただきました。先生方におかれましては、押し花、フラワーアレンジ等、学校現場における花の教材化の具体的実践に興味を寄せていただきました。研修をして副読本とともに現場へお持ち帰りいただきましたり、当協議会にお声がけ頂き、花育アドバイザーとともに、実践したり、あるいは、副読本の精神や、副読本の一部分を実践にとりいれたり、少しづつではありますが、幼児教育・小学校低学年の教育に花の活動が広がっていることを実感しております。「花育副読本生活科版」は、以下のような主旨で誕生いたしました。

実った喜び、咲かせた喜び、それは命を育む喜びであることを子どもたちは直感する。花と緑に触れ、もっともっと命を育む喜びを味わって欲しい、そして花を愛で緑を愛する心を育てて欲しい。そんな教育をお手伝いしたい。

今回第2弾として作成いたしました「小学校中・高学年用花育副読本」もこの主旨は変わりません。花緑と接する活動を通して、児童が、命を育む喜び、花や緑を愛する心を深めながら、様々な命と共存する環境を慈しむ心も培ってほしいと願っています。

【花育副読本一覧】

	副読本	対象額年	教科	内容
1	花いっぱい計画	3年生 4年生	総合的な 学習の時間	地域や学校の特色に応じた課題「町づくり」
2	生物の住む環境づくりをしよう	6年生	理科	B生命・地球 (3)生物と環境
3	いけばなを楽しもう	6年生	家庭科	C快適な住まいと衣服 (1)快適な住まい方
4	オリジナルコンテナと寄せ植えづくり	6年生	図画工作	A表現 B鑑賞

授業と実生活をつなぐ実感を!

～授業に一味加え豊かさを演出～

植物を育てたり、植物の作りや働きについて調べる学習で、花や緑は、学習対象としてたびたび登場します。そんな時、調べる事、育てることが、「実際に自分たちの生活のこんなところにつながっているんだ」と実感出来たり、活用できたら、学習意欲もぐんと上がるに違いありません。そんな願いを込めて、以下のような使い方をイメージして、このリーフレット(副読本)を作成いたしました。

- 教科の一部分の学習として。
 - ・ 導入、発展、あるいは、学習の流れの中で、ポイント学習的に取り入れていただく。
- 関連ある内容を教科学習と並行して、総合的な学習の時間や特別活動として取り入れていただく。
- 出来た作品を花緑を取り入れることで、生活に生かすという発展学習として活用する。
- 総合的な学習のテーマとして、取り上げていただく。

そのほかにも、特色ある学校づくりとして、第一弾の生活科副読本と合わせて、全校で学年に合った、花緑の活動の指針としてお使いいただくこともできます。

いろいろな視点で使っていただきたいと考えております。切り口によって、アレンジを加え、幅広くご活用いただきたいと思っております。

花いっぱい計画



- 1 身の回りにある花を見に行こう!
- 2 花を町や学校に広めよう!
- 3 自分たちで育てよう!
- 4 花のお世話をしよう!
- 5 よせ植えをしよう!
- 6 花をとどけよう!
- 7 最後までお世話しよう!

わたしは、この勉強を始める前の時は花のことなんて、ほとんど知りませんでした。でも、この勉強を始めて、花はとても美しいなあと思いました。これからもずっと、花があると見てしまいます。特に、百日草やマリーゴールド、ペチュニアなどを見たら、10分くらい見てしまうかもしれません。



年 組 名 前

1 身の回りにある花を見に行こう!

みなさんの身の回りには、どんなたてもものや場所がありますか?
学校の中、町の中をよく見てみましょう。そこに花がさいていませんか?



学校の中の花さがし

さがした花をかいておこう



「花はっけんカード」

月 日 天気

見つけた場所

花の名前



町の中の花さがし



校庭での花さがし

どうして、学校や町の中にお花が植えられているのでしょうか?

2 花を町や学校に広めよう!

町や学校が花いっぱいだったら、町や学校の人たちはどんな気持ちになりますか?

自分たちなりの答えを書いてみよう。



花のないところもありますね。
どうしたいですか?

たくさんの人に花を見てもらえれば、
町がえがおでいっぱいになるね。

3 自分たちで育てよう!

今からのきせつにはどんな花がてきしているのでしょうか?
 くわしい人や身近なおとなの人に聞いてみたり、ずかんで調べたりしてみよう。



花にくわしい人は、どんな人かな?
 お花屋さんや農家の人…



図書室には、たくさんのずかんがあるよ。

何のたねかな?



マリーゴールド



アサガオ



コスモス



ヒマワリ



ナスタチューム



花を育てるのにひつような物はなにか?
 育て方を花のくわしい人に聞いて教わろう。近くにそんな人はいないかな?



4 花のお世話をしよう!

育てている花は元気よく大きくなっていますか?
 こまったことや、わからないことはありませんか?

なかなか^め芽が出ないぞ…。

葉っぱが白くなってきている。
 病気かもしれない…。

これ以上大きくなったら
 なんかきゅうくつそうだな。

私ばかりお世話をしている、
 やってこない人がいる…。

こまっていることをかいてみよう

みんなのこまっていることを出し合ったら、どうやって解決できそうか話しあって実行しよう。



5 よせ植えをしよう!

花をいくつかまとめてよせ植えをつくろう。

よういする物



■花の苗(2~3ポット) ■コンテナ(鉢) ■はちぞこ石 ■ひりょう ■土(ばいようど)



■ぐんて ■シャベル ■ネット

※コンテナのあなから土が出ないようにネットをいれます。

季節の花を用意して、よせ植えをつくっていこう。



上:ピオラ
下左:シロタエギク
下右:ワイルドストロベリー



①コンテナの中に、はちぞこ石を2cmぐらい入れます。



②コンテナの中に土を半分ぐらい入れたら、どこに花を植えるか決めていきます。



③植える場所がきまったら苗の間に、土をいれていきます。



④ひりょうを花の根もとにあげましょう。



⑤すき間がないようにしっかりと土を入れたら完成です。水をジョウロでたっぷりあげます。
※下から水が出るぐらいあげましょう。



完成したよせ植え

ワンポイントアドバイス

〈ポット苗のぬき方〉
しっかりと苗をもってさかさまにします。片方の手で、プラスチックのポットをぬきます。



苗はやさしく持ちましょう。



ポットがとれないときは穴を少しおして苗を出しましょう。



6 花をとどけよう!

花をとどける先に、電話でれんらくをしよう。



お花で町をいっぱいになりたいので、私たちが育てたお花をとどけたいのですが…。

ポスターを書いて、ぼくたちの気持ちをわかってもらおう。



ゆうびんきょくへ、コンビニへ、駅へ、育てた花のプランターをとどけよう。

いざ!



出発!!



7 最後までお世話をしよう!

町や校内にとどけた花は、期間を決めてきちんと回しゅうしましょう。
集めた花は、花だんに植えかえて、最後まできちんとお世話をします。

①花だんに、フヨウ土・せっかい・ひりょうをよくまぜておきます。
(植える1週間以上前)

②集めた花は、かれた葉や終わった花をきれいにとりのぞきます。



③花を植えていきます。



④終わったらたっぷり水をあげます。



〈花だんには、たくさんのお花がさきました〉



お花さんありがとう。



花育副読本 指導案 対象学年 小学3,4年生用

花いっぱい計画 (25時間)

【総合的な学習の時間の学習課題】
地域や学校の特色に応じた課題「町づくり」

1.目標：自分たちで育てた植物で地域の緑化を進める活動を通して、植物栽培への関心を高めるとともに、地域の人々が花を通して交流するよさに気づき、地域への愛着を高める。

2.展開

〈 〉観点

児童の活動・発問	教師の支援(留意点)	評価・探求のポイント
1 身の回りにお花を見に行こう 〈副読本P2〉		
<ul style="list-style-type: none"> 学校にはたくさんのお花があるね。家の周りにもあるよ。 行ってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科の学区域めぐりの学習と連携して合科的に指導する。 	<p>課題設定</p> <p>情報収集</p>
どうして、学校や町の中にはお花が植えられているのだろうか？		
2 花を町や学校に広めよう 〈副読本P3〉		
<ul style="list-style-type: none"> お花をみると、みんなが笑顔になれるからじゃないかな。でも、お花のないところもあったよ。 たくさんのお花を見たら、町が笑顔でいっぱいになるね。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵地図などを作成して花が町にある意味についてクラス全体で考えられるようにする。 花を町に届けたいという意欲が出るように「ここに花があったら、どんな気持ちになりますか」と自分事になるように問いかける。 	<p>整理分析</p> <p>まとめ表現</p> <p>課題設定</p> <p>〈課題設定力〉 花のない場所を具体的に上げ、そこへ花を届けたいという意欲が見られる。</p>
3 自分たちで育てよう 〈副読本P4〉		
<ul style="list-style-type: none"> 今からの季節にはどんな花が適しているのかを調べる。町のお花屋さんへ聞きに行こう。 調べてわかったことを、クラスのみんなに伝えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの既習経験などを生かしながら、自分の力で情報を集められるように今までの学習資料や、使ってきた図鑑を示したり、校庭の各季節の花だんの様子の写真などが使えることを示唆する。 	<p>情報収集</p> <p>〈情報収集力〉 自分で考えた方法で、季節に合った花を調べている。</p> <p>整理分析</p> <p>まとめ表現</p> <p>情報を活用して花を育てる計画や活動ができている。</p>
4 花のお世話をしよう 〈副読本P5〉		
<ul style="list-style-type: none"> ■花の育て方で、困っていることや分からないことを解決する。 ・なかなか芽が出ない ・病気かもしれないよ ・花に詳しい人に聞いてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの困っていることを出し合い、どうやって解決できそうかを話し合っ、実行できるようにする <p>外部アドバイザーの招聘</p>	<p>課題設定</p> <p>〈課題設定力〉 困っていることをワークシートに記述している。</p> <p>情報収集</p>

「つかむ」学習段階

「追究する」学習段階

5 寄せ植えをしよう 〈副読本P6・P7〉

- 寄せ植えをして、花を届ける準備をする。
- ・きれいなプランターでないと笑顔になれないね。
- ・持っていき先へお願いをして、おかないといけないよ。
- ・ポスターをかいて僕たちの思いや願いを知ってもらおう。

- ・外部アドバイザーの指導のもと、寄せ植えを行う場を設定する。児童が持っていくのに適した大きさや高さに配慮する。
- ・お花を届ける先にはお願いをして、子ども自身が手配できるようにする。

6 花をとどけよう 〈副読本P7〉

- 自分たちの花を町に届ける。
- ・喜んでもらえてうれしい。
- ・自分たちの花が元気が気になるね。

- ・安全に留意して、保護者などに引率をお願いする。達成感もてるように、届け先と連携を密にしておく。
- ・届け先には、水やりなどのお願いを事前にしておく。

7 最後までお世話しよう 〈副読本P8〉

- 町に出ていたお花を回収して、学校の花壇に植えかえる。
- ・お花さん、ありがとう
- ・町がとってもきれいだった。うれしいな。
- ・最後まで育てよう

- ・一定期間で花を回収に行くようにする。安全のため、保護者などの引率をお願いする。

整理分析

〈整理・分析・表現力〉
ポスターや、依頼文などに、自分たちの思いや、願いなどを書いている。

まとめ表現

〈生かす力〉
花を町に届けて、笑顔を増やすことができたことに対して達成感や成就感、自己肯定感などを感じている。(感想文、ポスター、依頼文から読み取る)

「広げる・生かす」学習段階

指導に当たって

事前に行っておくこと

- ・花の種や苗、土、肥料など必要物品をそろえておくこと。
- ・種から栽培する場合は、開花までの時期を考慮して種まきを終えておくこと。
- ・社会科や国語の学習と連携をして、指導計画を立てること。

実施時期

- ・1学期に行う場合は春夏の花を育てて行う。その際、4月中には種まきをして、夏休み前までに行なう。届け先との連携が取れれば、夏休み中に児童が水やりをするなどして9月まで実施することも可能。ただし、安全面には十分な留意が必要。
- ・2学期に行う場合は、秋冬の花を育てて行う。その際、3学期までを見越して、冬休みも継続して行う。届け先との連携が取れれば、冬休み中に児童が水やりをするなどして継続することも可能であるが、安全面の留意から一度学校に引きもどしたり、家庭に持ち帰らせたりすることも考えられる。また、冬休み明けに花を届ける活動を行う指導計画も考えられる。

花の種類

- ・1学期実施の場合：マリーゴールド、ニチニチソウ、ヒヤクニチソウ、ペチュニア、コリウスなど、丈夫で背丈があまり高くないものが適している。
- ・2学期実施の場合：パンジー、ビオラ、ノースポールなど、冬の寒い時期でも育つ丈夫な花が適している。

3年・4年のちがい

特に違いはありません。3年生の1学期に行う場合は、はじめての総合的な学習の時間として、オリエンテーションを交えて丁寧に指導します。4年生の2学期に行う場合は、発達段階に配慮して、性差に関わらず興味を持って活動を継続できるように工夫をする。

その他

- ・実施時期や気候、地域や児童の実態に応じて種から育てるか、苗から育てるかの選択が必要である。苗から育てる場合は、育てやすく、開花までの時間もかからないが、費用がかかる上に、花への愛着が薄まる傾向にある。一方、種から育てる場合は、開花までの時間がかかり、育てにくい面がありますが、その分、花への愛着は高まる。
- ・地域協力者や外部アドバイザーなど、花に詳しいゲストティーチャーの確保が必要。
- ・外部アドバイザー(花育アドバイザー)についてのお問い合わせ先
全国花育活動推進協議会 ウェブサイト：<http://www.hanaiku.gr.jp>

生物のすむ環境づくりをしよう

— 自分でつくるうビオトープ —



- 1 生物探検に行こう!
- 2 生物がすむ場所をつくらう!
- 3 ビオトープを活用しよう!
- 4 人と自然の関係を考えてみよう!

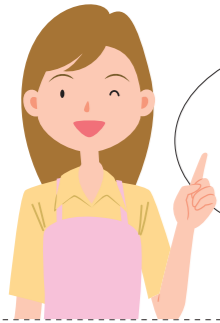
学校や地域には、たくさんの生物が暮らしています。どこにどんな生物がいて何を食べ、どのように生きているのでしょうか。小さな生物の空間(ビオトープ)を作って、観察してみましょう。

私たちの生きる基盤である自然環境の神秘さ・大切さ、人と自然の共存などいろいろなことが見えてきますよ。

年 組 名 前

1 生物探検に行こう!

(1) 生物は、どんなところにすんでいるのでしょうか?
学校のまわりで、いろいろな生物がすんでいる場所を探してみよう。



危険な虫もいるので、
気をつけよう。



用意する物

虫めがね・ものさし・図鑑・カメラ・ビニール袋・シャベル・虫かご・捕虫網など

見たことがあるものにチェックしよう。

水生植物やその環境

スイレンの花




学校のビオトープ 植物が植えられた川




草原や公園など

小川と木道



草が茂っている広場



校舎のうらの草むら





樹林や植物のある場所

木がたくさんある森




木や植物のある川辺 竹の林

花だんや畑など

花のコンテナ




野菜の畑 いろいろどりの花だん




生物探検 記録カード

(2) 記録カードを記入しましょう。 氏名 _____

月 日 午前 午後 時 分 天気() 温度(°C)

見つけた場所	すみかの様子	見つけた生物	生物が食べているもの
		• • •	• • •
		• • •	• • •
		• • •	• • •

絵をかいたり、写真を貼ったりしましょう。

〈気づいたこと〉

2 生物がすむ場所をつくろう!

ビオトープとは…

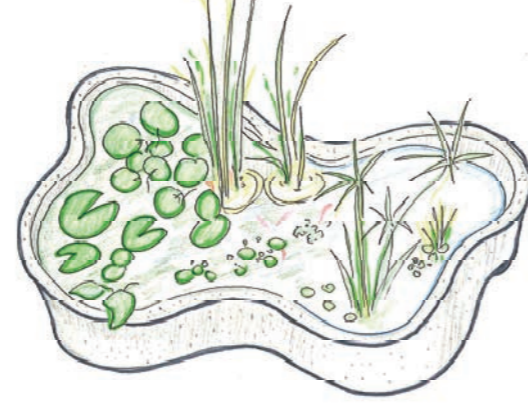
ビオは「生物」、トープ「場所」。
地域の野生の生物たちが、生育・生息する空間を意味する言葉です。

(1) いろいろなビオトープ

自然の地形を活用したビオトープ



ひょうたん池



ミニビオトープ

ペットボトルの容器や
小さな容器でも
ビオトープが作れます。



ペットボトルの
ビオトープなら、ほくたち
にも作れそうだね。



バタフライガーデン

チョウの幼虫が好む植物を植えて、「バタフライガーデン」
を作ることができます。身近な花壇をよく見てパンジー、
ナスタチューム、ミカン類など
を観察してみましょう。



屋上で緑のビオトープ

屋上やベランダにビオトープをつくと野鳥やト
ンボ、セミなどをはじめ植物の種子も飛来します。



(2) ビオトープをつくってみよう

〈準備と必要な道具〉

【用意する物】

ぐんて、シャベル、スコップ、ハサミ、タフブネ(プラスチック容器)、クワ、ビニールシート、
バケツ、ビニール袋など



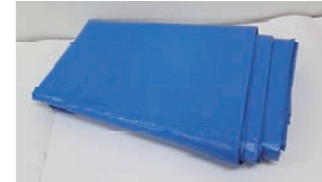
ぐんて



シャベル



ハサミ



ビニールシート



バケツ

【服装】

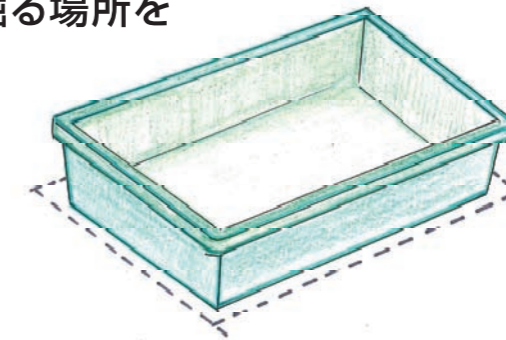
日射や疲労から体を守るために、帽子、動きやすく丈夫な長袖・長ズボンを着用しましょう。

【安全対策】

水分補給のために水筒も持参しましょう。バンソウコウや消毒液など救急セットも用意して
おきます。

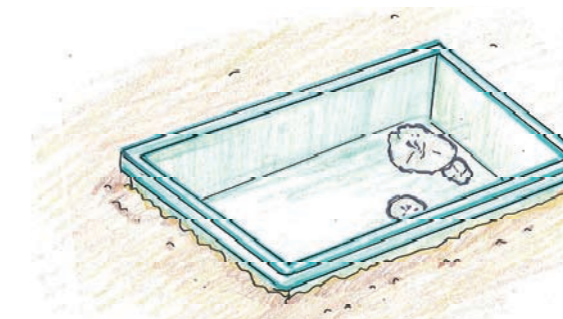
〈タフブネ(プラスチック容器)を使ったビオトープ〉

(1) タフブネの形に掘る場所を 決めます。



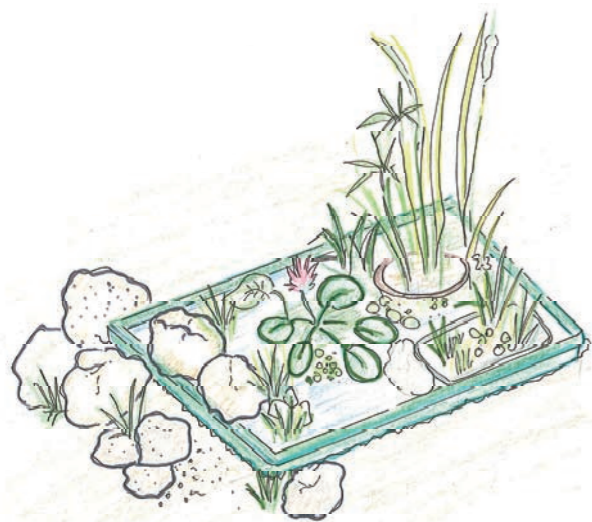
(2) 掘った穴にタフブネを入れて高さを調節して、周囲をすきまがない ように埋めます。

※埋めずに、置いて並べるだけでも手軽に作ることができます。



(3) タフブネの中に、水生植物を植えます。

直接植えずに、鉢や小型プランターに植えてタフブネに沈めると管理が楽になります。



ワンポイントアドバイス

タフブネのビオトープのまわりに、草花の鉢を並べるとトンボやチョウなどのかくれ家になりますよ。



水辺の植物の環境

湿地植物

根元が水に浸るところで生育
トクサ、ミソハギなど



左:トクサ 右:小型のヨシ



ウキクサ

デンジソウ

スイレン

浮葉植物

水底に根を張り、葉は水面に浮く
スイレンなど

浮水植物

植物が水面に浮かんでいて、根を水中に伸ばす
サンシュモ、アカウキクサなど



沈水植物(水草)

植物体が完全に水中にあるもの
マツモ、クロモなど



抽水植物

水の中に根を張り、茎や葉を水上に伸ばす
オモダカ、ガマなど



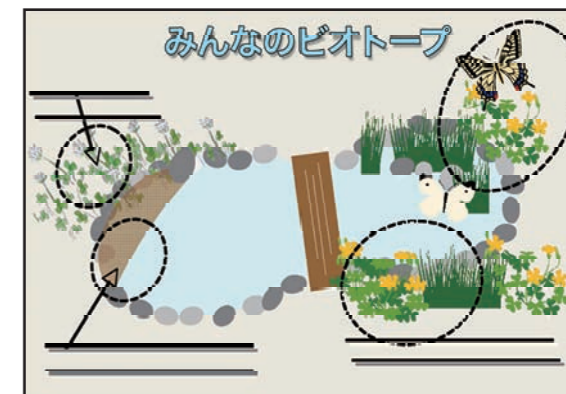
3 ビオトープを活用しよう!

観察したり調べたりした結果を発信しよう。

季節の変化を新聞にしてみよう。

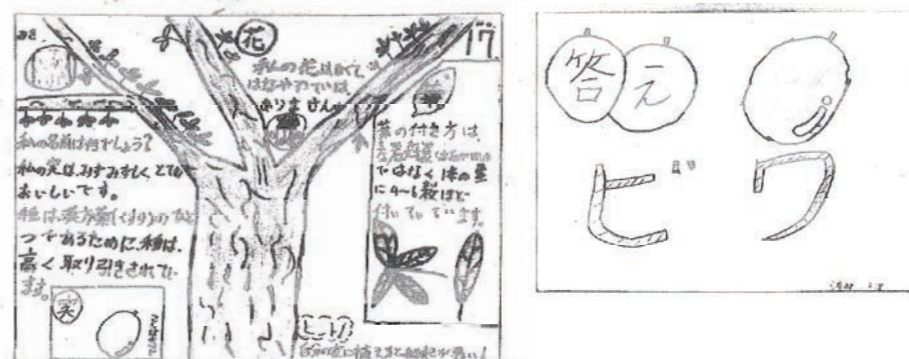


掲示板を作ってみんなに教えてあげよう。



ビンゴやクイズにして問題を作ってみよう。

〈木の名前のクイズの例〉



■ ビワの木

〈ビオトープを作った後のお世話〉

- 水は、植物の具合を見て少なくなったらあげましょう。夏場など乾燥しやすい時期には、午前中にたっぷりあげるとよいでしょう。
- 水生植物が大きくなったり、葉が茂りすぎたらを間引いて調整します。
- 水底に、砂やドロ、落葉がたまってきたら、ヒシャクなどですくい上げます。

4 人と自然の関係を考えてみよう!

ビオトープづくりの活動を通してかんじたこと

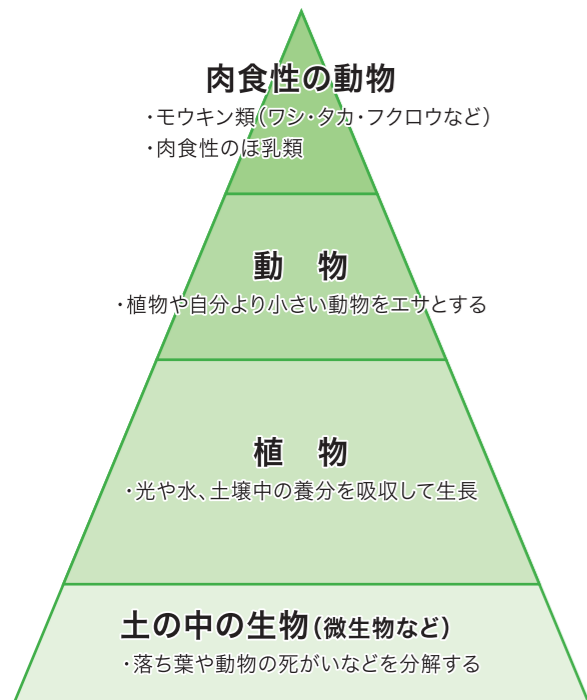
ビオトープの変化・生物について(気づいたこと)様子を書きましょう。

〈観察期間 月 日～ 月 日〉



〈生態系ピラミッド〉

色々な生物は、お互いに関係を持つことで豊かな生態系が作られます。生物がすむためには色々な環境が必要です。



私たちができること、やりたいことを書いてみよう。

生物のすむ環境づくりをしよう -自分でつくろうビオトープ- (8時間)

【教科】6年 理科
内容 B 生命・地球(3) 生物と環境

- 1.目標：いろいろな生き物のすむ環境を観察して、その生き物に適した植物・水・土壌などの生育環境を知るとともに、多様な種類の生き物が生育できる環境を整え、食物連鎖や人間との関係を考えることができるようにする。

2.展開

〈 〉観点

児童の活動・発問	教師の支援(留意点)	評価・探求のポイント
<p>■表紙の写真を見ながら、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分たちで作るなんて、すごいな」 ・「生き物を大切にしているんだね。」 ・「水や草があると、虫たちも来るんだね。」 ・「カワニナは、メダカの水槽にもいたよ。何を食べてるのかな。」 ・「こんなの、僕たちには作れないよ。」 ・「ミニ自然が、近くにあったら楽しそうだな。」 <p>〈副読本P2・P3〉 1 生き物探検に行こう!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「これは、ある学校や公園のビオトープの様子です。木道や池の掲示板も6年生が作ったそうです。」 ・「ビオトープって何のこと?今までに見たり聞いたりしたことがありますか。」(学校の状況に合わせて扱いを変えるとよい。) ・ビオトープについて簡単に説明(P4)をし、自分たちでも簡単に作れることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然事象への関心・意欲・態度…〈関・意・態〉 ・科学的な思考・表現…〈思・表〉 ・観察・実験の技能…〈技〉 ・自然事象についての知識・理解…〈知・理〉 <p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、自分達の身近な地域や生活と比較しながら、発言している。(発言、つぶやき)
<p>学校の周りや地域へ生き物探検に行きましょう。どんな環境にどんな生き物がいるのか、調べてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にP2で予想を立て、グループ等で出かけるようにする。(付き添いの教員等の配置) ・危険な虫等は、捕まえずにデジカメなどを使用するなどの安全に注意する。 ・地域の生態系をある程度調べ、生き物の活動が見つかりやすい時期を選ぶ。 	<p>〈技〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行く場所に合わせて、具体的に考え、準備を進めている。(グループの話し合い)
<p>(探検後)</p>	<p>結果を発表し合ひましょう。気が付いたことはありましたか。</p>	<p>〈思・表〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物と水・空気・食べ物とのかかわりを関係付けて調べ、表現している。(副読本P3)

〈副読本P4~P7〉

2 生き物がすむ場所をつくろう!

学校の周りの自然を取り込んで、生き物がすむ場所(ビオトープ)を作って、生き物の様子を観察しましょう。皆さんでも簡単にできるビオトープもあります。

- ・「いろいろな種類があるんだね。」
- ・「ペットボトルなら、夏休みに家にも持って帰れるね。」
- ・「わあ、みんなのビオトープを集めると、大きな生き物のすみかができそうだね。」

ゲストティーチャー紹介、挨拶

・タフブネのビオトープの作り方
タフブネ(プラスチック容器)を使ったビオトープ作り

- (1) タフブネの形に掘る場所を決めます。

- ・P4,6の写真を紹介し、実態に合わせて選ぶようにする。特に、ミニビオトープややひょうたん池などはゲストティーチャーに指導をお願いするとよい。
- ・できれば地域の方が望ましい。

- ・事前に設置する場所を確認しておく。

ビオトープを作る場所に、ラインを引いて印をつけましょう。

- (2) 穴を掘りタフブネを入れて高さを調節する。

- (3) タフブネの中に植物を植えます。

※ミニビオトープ(ペットボトル)の作り方は、「花育実践者向けマニュアル」ミニビオトープを作る方を参照してください。

- ・小形のプランターや鉢に植えたものをタフブネに沈めると管理が楽になる。

- ・植える植物について事前に、図鑑で調べたり、植栽計画をしておくに興味が高まる。

- ・ゲストティーチャーへのお礼の手紙や途中経過の報告などを行う。

(観察期間)

〈副読本P8〉

4 人と自然の関係を考えてみよう!

ビオトープを作って観察してみて、どんなことが分かりましたか。また、感じたことなども話し合しましょう。

- ・「メダカが卵を産んで子どもが増えました。水草が大事な役目をしていることがわかりました。」
- ・「日光が当たって、水草が増えたよ。カワニナが卵を食べちゃった。」
- ・「ヤゴが羽化したよ。うれしかったなあ」
- ・「ゆずの木のあげはが蝶になったけど、葉っぱは丸坊主になったよ。」

- ・ビオトープの植物や生物の変化については、事前に記録したものをともに発表させる。
- ・生物と水や空気、食う食われるの関係などに触れるようにする。
- ・「食物連鎖の図を見ながら、人間との共生や環境問題にも触れられるとよい。

〈関・意・態〉

- ・生物が水や空気などの周囲の環境の影響を受けたり、かかわり合ったりして生きていることに興味・関心をもち、自ら生物と環境のかかわりを調べたり、毎日様子を見ている。(記録)

〈知・理〉

- ・生物は水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きていること・生物の間には食う食われるという関係があることを理解して感想を書いたり、発言したりしている。(発言、P8の感想文)

指導に当たって

事前に行っておくこと

- ・学校の周辺環境について事前に把握しておく。季節による変化、危険な生き物の存在や場所、安全なルートなど実地踏査やフィールドワークを行ったり、地域の人に聞いたりしておく。できれば複数の教師やゲストティーチャーなどで行くことが望ましい。
- ・どのようなビオトープをつくるのが可能か、その後の活動も含めてゲストティーチャーや管理職等の校内の教師が綿密な打ち合わせを行い、場所や方法を共通理解しておく。

実施時期

- ・春から秋にかけて、昆虫の羽化や水生生物の産卵など変化が見やすい時期がよい。夏休みなどで観察が途切れることも考えて時期を選ぶようにする。ミニビオトープは、自宅に持ち帰ったり、屋外の放射線などを受けずに済む点や置き場によっては年間を通して観察は可能。※温度管理に気をつけること。
- ・作って終わりではないので、その後の世話をどのようにするかも考え、児童が活動しやすい時期を選ぶように配慮する。

使用する植物や生物

- ・ウキクサ・デンジソウ・トクサ・小型のヨシ・セキショウ・野菜として販売されているセリ・ミツバ・クレソンなども利用できる。地域に自生する水生植物が入手可能なら採取の方がよい。5月下旬頃になると多数の水生生物が販売されるので入手してもよいが、外来種はなるべく使わないようにする。
- ・メダカ・フナ・ドジョウ・ヌマエビ・タニシ・オタマジャクシなどの小魚や昆虫などは、作成直後には入れないようにする。ビオトープ内の生物を外部環境に流出させると、生態系を混乱させる危険性もあるので、注意が必要である。
- ・外来生物とは、もともとその地域にはおらず、海外や他の場所からやってきた生物でもともといた生き物を食べて増えたり、交雑して雑種ができたりと問題となっている。
※【外来生物法】については、環境省ウェブサイトで解説されている。

3年生~6年生の違い

- ・3年~6年で、理科 内容B「生命・地球」での扱いがあるので、発達段階に応じて、作る物や方法などを工夫するとよい。学校ビオトープとして作成可能であれば、全学年を通して生物環境を体験することができる。
- ・3年「昆虫のすみか」と育ち方・体のつくり」昆虫の餌になるような植物を植えて成長の様子を観察
- ・4年(総合)「ヤゴ救出大作戦」トンボの羽化、自分の木
- ・5年「メダカの生殖」「イネの育ち方」をビオトープで組み合わせてみる。
- ・6年「空気、水などの環境、食物連鎖」に重点をおいた学習として行う。

- ・水生生物を採取する場合は、所有者への許可やマナー、安全面等に注意する。
 - ・活動の時間数は、活動内容や作るビオトープの種類によって変わる。
-
- ・参考資料／財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会「学校生態園活用マニュアル」
 - ・水生植物の購入など参考となるウェブサイト 株式会社杜若園芸 <http://www.tojaku.co.jp/>
 - ・外部アドバイザー（花育アドバイザー）についてのお問い合わせ先
全国花育活動推進協議会 ウェブサイト：<http://www.hanaiku.gr.jp>

いけばなを楽しもう



- 1 生活にいきる「いけばな」
- 2 「いけばな」に挑戦してみよう!
- 3 「いけばな」の飾り方(活用の仕方)
- 4 「いけばな」についてもっと知ろう!
- 5 私がいけた「いけばな」

皆さんの家には花が飾ってありますか？
ベランダや庭には、花が咲いていますか？
皆さんは、花が好きですか？私たちは、暮らしの中に花を取り入れるのが好きです。
日本では、昔から「自然をいつも手元においておきたい」という思いから「いけばな」が誕生したといわれています。今では、多くの人が世界中で楽しんでいます。心を込めていけた花は、季節の変化に合わせた素敵な空間を作り、見る人を笑顔にさせてくれます。
さあ、「いけばな」に挑戦してみましょう。

年 組 名 前

1 生活にいきる「いけばな」

私たちの生活の様々な場面で飾られている「いけばな」を見てみよう。

見たことや聞いたことのあるものを☒に○か×をつけてみよう。

「いけばな」があることでどんな気持ちになりますか？

また、どんな時に花を飾るのでしょうか。みんなで話しあってみよう。

式典や授賞式

会場に花があると明るく、華やかな雰囲気になります。入学式や卒業式にもステージに花が飾られますね。



お正月(1月1日)

お正月は、気持ちも新たに1年のスタートです。縁起がよいとされる松や、南天、竹、梅、菊などを生けてお客様をお迎えしましょう。



ひな祭り(3月3日)

3月3日の桃の節句は、女の子の幸せを祈り健やかな成長を願って祝う日です。桃の花や桜、菜の花などを飾りお祝いしましょう。



端午の節句(5月5日)

昔から、家ののき先にショウブやヨモギをさしたり、ショウブをいれたお風呂(菖蒲湯)に入る習慣があります。玄関に、ハナショウブを飾っても素敵ですね。



七夕(7月7日)

「織姫と彦星」の物語はとても有名ですね。笹に願い事を書いた短冊を飾るのは江戸時代に始まったと言われてます。今年は美しい天の川が見えるでしょうか。



お月見(十五夜)

収穫に感謝するお祭りで、収穫物をお月様にお供えするようになりました。お月見団子をお供えするのはそのためです。ススキは魔よけとして飾られています。



2 「いけばな」に挑戦してみよう!

(1) 準備

「いけばな」に必要なものを準備しよう。



- 器(うつわ)、花びん
- 花(季節の植物)
- 剣山(けんざん)
- ハサミ
- 吸水性スポンジ など

〈器・花びん〉

水が入るものならば花の器として使えます。家の中にあるグラスや食器類、空きびんやペットボトル、身のまわりのもので使えるものを探してみましょう。



口が広くて浅い器
剣山をおいて花の位置を決めていけます。

水盤(すいばん)



つぼ



足つきの花器(コンポート型)

〈花(季節の花)〉

●春の花

- ・チューリップ
- ・カーネーション
- ・さくら
- ・ガーベラ



チューリップ

ガーベラ

●夏の花

- ・ユリ
- ・ヒマワリ
- ・カラー



ヒマワリ

ユリ

カラー

●秋の花

- ・コスモス
- ・キク
- ・リンドウ
- ・ススキ



コスモス

キク

●冬の花

- ・スイセン
- ・センリョウ
- ・ツバキ
- ・マツ



スイセン

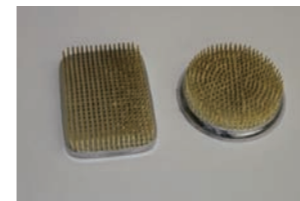
センリョウ

マツ

〈剣山(けんざん)〉

いけばな用の花を留める道具です。

金属の針に花の茎をさして花を固定します。丸形や四角の形があります。



〈ハサミ〉

いけばな用のハサミがない場合は、工作用のハサミで代用します。

使ったあとは、汚れや水をよく拭きましょう。



左から

「わらび手はさみ」

「古流はさみ」

「クラフトハサミ」

〈吸水性スポンジ〉

よく水を吸収させて、使う器の大きさに切って使います。花を固定し、茎から水を補給させるために使います。



(2) 「いけばな」のいけ方

① いける花をよく観察しよう

色や形など特徴をよく見てみましょう。
香りも確かめたり、手ざわりを見てみよう。



スイートピーやストックは、とてもいい香りがします。

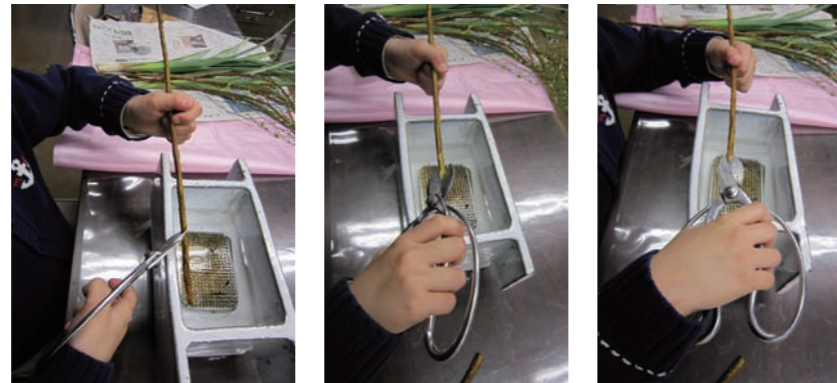
② 使う器や花びんを選びます

図工で作った焼き物の器や、ペットボトルなどでもいけることができます。好きな花器を選びましょう



③ 花の切り方

花はハサミでななめに切ったり、Vの字に切ります。



1. 枝は、上の方を持ちハサミでななめに切ります。
2. 先端がVの字にとがるようにします。
3. 枝先に切り込みを入れます。

【ポイント】

はじめに、花の中で背の高いもの・目立つ花・大きい中心になりそうなものを切ります。

④ 花をいける準備



テーブルの上に花や道具を準備します。
(右利き用の置き方)
右にハサミ、真ん中に花器、左に花や切った残りを置きます。



ハサミはテーブルに直接置かず、タオルなどの上に置くと良いでしょう。

⑤ 水きりの方法

花をいける前に水きりをしましょう。



「水きり」ってなんだろう？

バケツやボウルなどの中に水を入れて、その中でくきの根元を少し切ります。
水を吸い上げる力が高まるのでいける前に「水切り」をすると花が元気に長持ちします。

⑥ 花をいける



1. 両手で枝をしっかりと持ち一番りっぱな枝を剣山の中心にさします。
2. 二番目にりっぱな枝を斜めにしたいときまっすぐさした後、手前にかたむけます。
3. 二番目にりっぱな枝を手前にくるように一番奥にさします。
4. やや細い枝を一番奥にさします。
4. 花を真ん中にさします。



5. 花を奥に少し低くさします。
6. 手前に花をさします。
7. 下草をいれ、剣山をかくします。

いけばなの完成です。



7番のように下草で剣山をかくすようにいけると仕上がりがきれいにみえますね。

3 「いけばな」の飾り方(活用の仕方)

学校に飾りましょう

学校にきれいな花を飾り、お客様をお迎えしましょう。
教室やいつも使う手洗い場・トイレにも花を飾ると明るくなりますね。



玄関に飾る 来客用受付 教室 手洗い場

家に飾りましょう

玄関に季節の花を飾ったり、リビングに飾ると家族みんなが
きれいな「いけばな」を見ることができますね。



玄関 リビング



あなたは、いけた花をどこに・誰のために飾りたいですか？
それはなぜですか？

〈飾る場所〉

〈誰のために〉

4 「いけばな」についてもっと知ろう!

ゲストティーチャーの話

ゲストティーチャーから聞いた話の中で、心に残ったことや初めて知ったことを書いておこう。

「いけばな」について友達の感想

私の家は、おばあちゃんが花好きなので、みんな花が好きです。今度、家に咲いている花でいけてみたいです。日本にある文化をこれからも守りたいです。

お花が元気に育つように願うと、お花にも気持ちが伝わるといことがよく分かりました。敬う心もとても大切なんですね。お花にも命があるので、いつまでも大切にしたいです。

いけばなは初体験で、とても楽しかったです。季節感や流行を取り入れることも大事と初めて知りました。これから、お家の中やお庭にもお花を飾りたいです。また、とったお花を枯れるまで育てたいです。

お花を家に持って帰ってきたら、お母さんが喜んでいました。それからお花をいけたらこの前よりとてもうまくなりました。今度おばあちゃんの家に行ったら、またお花をいけてあげようと思います。

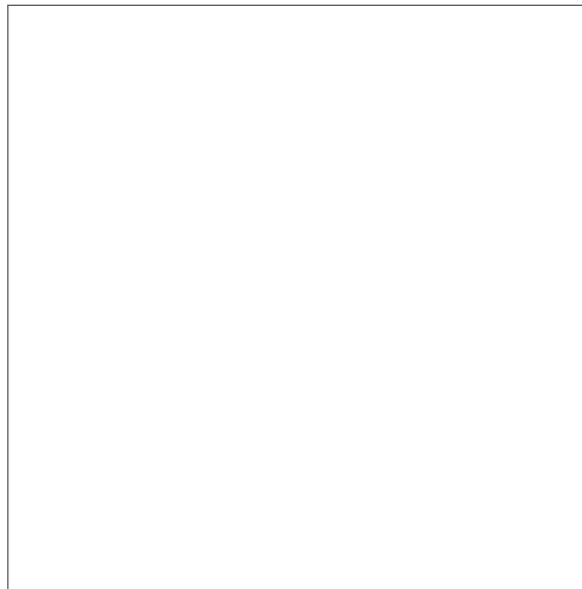
「いけばな」を体験した友達の感想です。
みなさんは、体験してどのような感想を持ちましたか？



5 私がいけた「いけばな」

「いけばな」を体験して感じたことを書きましょう。

自分がいけた「いけばな」の写真を
撮って貼りましょう。



(キリトリ)



教えてくださった先生にお礼のお手紙を書きましょう。

教えてくださった先生に、感謝の気持ちを伝えましょう。

様

年 組 名前

より



いけばなを楽しもう (8時間)

【教科】6年 家庭科
内容 C 快適な衣服と住まい

(1) 快適な住まい方 イ. 季節の変化に合わせた生活の大切さが
分かり、快適な住まい方を工夫できること。

1. 目標：・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。
・季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できる。

2. 展開

〈 〉観点

児童の活動・発問	教師の支援(留意点)	評価・探求のポイント
<p>〈副読本P1〉</p> <p>■表紙の写真を見ながら、いけばなについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きれい!」「私たちにもできるかな?」 ・「おばあちゃんがやっているよ」 ・「難しそう」 ・「いけばな教室で教えてもらっているよ」 <p>■ゲストティーチャーの紹介とあいさつ。</p> <p>〈副読本P2〉</p> <p>1 生活にいきる「いけばな」</p> <p>■「いけばな」を生活の場面でみたことがあるか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「いけばな」の作品が準備できれば児童に見せると良い。 ・家の中に花が飾ってある児童にどんなとき、どんなところに飾っているか発表してもらおう。 ・昔からある「いけばな」を今日は、ゲストティーチャーから教えていただくことを伝える。 ・児童が身近に感じるように、紹介の仕方を工夫する。 	<p>〈関・意・態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙の写真を見ながら積極的に発言している。
<p>「いけばな」は、皆さんの身の回りでもたくさん見かけることがあると思います。 どんな場面でみたことがあるか、みんなで考えてみましょう。 写真を見ながら、見たことがあるものに○をつけてみましょう。</p> <p>■P2の写真を見ながらチェックをしたり、自分で知っている物を書き込んだりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えたものも含め何人かに発表してもらおう。 	<p>〈知・理〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験などを元に気持ちを表現している。(P2書き込み・発言・つぶやきなど)
<p>「いけばな」があると、どんな気持ちになりますか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の香りがすると気分がよくなる。 ・季節感がでる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の人が「自然を取り入れて」生活を豊かにしたことを伝える。 ・快適な住まい方の工夫の一つであることをおさえる。 	
<p>〈副読本P3〉</p> <p>2 「いけばな」に挑戦してみよう!</p> <p>(1) 準備 「いけばな」に必要なものを準備しましょう。</p>		
<p>「いけばな」に必要な物を見てください。</p>		

- P3の写真をしながら準備について知る。
- ・色々な形があるね。
- ・えーっ。ペットボトルでもいいの？
- ・図工の時間に作った器でもいけられるね。
- ・家にある空き瓶にも似ている形があるよ。

- ・道具など、できれば実物を見せながら説明できるとよい。
- ・ペットボトルや、オアシス、剣山など使用するものを伝える。
- ・児童が身近に感じるように、紹介の仕方を工夫する。

- 器や使う資材、花材などを配布する。

- ・ペットボトルや、オアシス、剣山など使用するものを伝える。(担任は、安全を考えながら手伝うようにする)

〈副読本P4・P5〉

(2) 「いけばな」のいけかた

いける花をよく見てみましょう。色・形を見て、香りもかいてみましょう。

- 使う花の名前や扱い方の説明をする。

- ・花の名前や産地の説明をし、花の感触を感じたり、においをかいだりするように声をかける。

- ・いい香りがするね。
- ・こんな花があったら、おばあちゃんきっと喜ぶよ。

- ・色や形などを見て、誰のためにいけるか考えさせる。

P4・P5を見ながら花をいけていきましょう。

- 花の切り方やいけ方を説明する。

- ・茎を切る時にはさみの扱い方に注意する。
- ・挿しやすさを考えて斜めに茎を切る。
- ・水きりについて触れておく。
- ・背の高い目立つ花、中心になりそうな花を切る。
- ・次に空いた空間に、別の小さな花を好きな長さに切っていけていく。
- ・緑の葉物は、足元になるべく短く入れる。
- ・完成したらラッピングペーパーを巻いたり、リボンで飾ったりしても良い。
- ・回りながら、良さをほめるように声をかける。

- ・斜めに切ると挿しやすだね。
- ・中心の花が決まるといけやすいよ。
- ・自分流に好きな長さでいけられるのは楽しいね。
- ・やったあ！かっこいい。どこに飾ろうかなあ〜。
- ・リボンの色を変えると雰囲気が変わるね。

- 机の上を片付ける。

最後に片付けをしましょう。机の上を何も無い状態にきれいにしましょう。

〈副読本P6〉

3 「いけばな」の飾り方(活用の仕方)

- 各自作った「いけばな」を机の上に用意。

みんなの作品を見合ってみましょう。みんな上手にいけられたね。同じ材料を使っても、一人一人の個性が出てすばらしいですね。

- ・○○ちゃんみたいないけ方もおもしろいね。
- ・緑の葉の入れ方で雰囲気が変わるね。

〈関・意・態〉

- ・花をよく観察し、いける場所などを考えている。(つぶやき、発言など)

〈関・意・態〉

- ・花の切り方やいけ方の順序を知り自分のいけた花に満足している。(つぶやき、感想文)

どこに、誰のために飾りたいですか？

〈副読本P6〉

4 「いけばな」についてもっと知ろう！

- どこに、どんな人の為に飾りたいかを考えて思いを書き込む。

- ・P6「いけばなの飾り方」の例にも触れ、もっとほかの場所なども発表させ、発想を広げるようにする。

- ・私は、玄関に飾りたいです。家に来た人を気持ちよく迎えたいからです。

〈副読本P7〉

4 「いけばな」についてもっと知ろう！

- 7Pゲストティーチャーの話で心に残ったことや友達の感想を読んで感じたことを発表する。

- ・各自の個性を褒め、皆が違って良いことを伝える。

- ・時間があればお互いの作品を見合うと良い。

- ゲストティーチャーにお礼とあいさつ。

教えてくださった先生にお礼を言いましょう。

- ・いけばなを飾ることで、気持ちよい快適な住まいを作ること伝える。

〈副読本P8〉

5 私がいけた「いけばな」

- ゲストティーチャーにお礼の手紙を書く。

「いけばな」について感じたことを書きましょう。教えてくださった先生にお礼のお手紙を書きましょう。

- ・写真に撮ってみるとまた感じが違うな
- ・家に飾ったらみんなに喜ばれた事を書こう。
- ・いけばなって難しいと思ったけどうまくできてうれしかったことを感想に書こうかな。

- ・飾った後の様子を伝えてもらうと良い。
- ・お礼の手紙は、コピーなどをして残しておくとうい。後で評価にも使える。

〈創・工〉

- ・季節の花を飾ることで、住まいの雰囲気が変わったことを実感し、快適な住まいを作るために様々な工夫をしようとしている。(感想・お礼の手紙)

指導に当たって

事前に行っておくこと

- ・いけばなの専門家との事前打ち合わせを行い、短い時間の中で技能と知識を盛り込めるようにしたい。流派によって生け方に違いがあるので注意する。
- ・ペットボトル等、自作の器を使う際は事前に作っておくとよい。また切り口などで怪我をしないように、ビニールテープなどを貼っておくとよい。
- ・焼き物の器を制作する場合は、図工の専科などと打ち合わせを行い、時期を工夫するようにする。

実施時期

- ・快適な住まいを考えて、季節の花を選べばいつでもよい。また、「敬老の日」などの行事に合わせて感謝の気持ちを表すためにいけたり、入学式・卒業式などの時に、教室や廊下などに飾ったりするのもよい。

花の種類

- ・背の高い花と低い花などの2～3種類と緑の葉物を組み合わせて、色や形を選び、季節感が出る物がよい。
- ・家に持ち帰ることも考えて、花の大きさなどを選ぶとよい。

3年生～6年生の違い

- ・3～5年生…学校行事や季節の行事などに合わせて、学活、道徳、総合などで扱うことができる。「誰かのためにいける」という気持ちに重点を置いた指導が望ましい。
- ・6年生…家庭科で扱う場合は、自然を取り入れ、快適な住まいをつくるという姿勢を強調したい。社会の歴史の学習(室町時代に作られた日本独特の文化)の発展として扱うことも可能。この場合は、「いけばな」の知識についての調べ学習なども取り入れるとよい。

その他

- ・日本独特の文化である「いけばな」が身の回りのもので簡単に楽しめることが実感できるとよい。経験を活かして季節感などが感じられる快適な住まい作りに意欲的に取り組むようになることを期待したい。
- ・担任教師が教えることも可能だが、できれば専門の方にゲストティーチャーとしておいで頂く方が望ましい。担任は、安全などに配慮してバックアップを図ることで子供達の個性を発見することもできる。

・外部アドバイザー(花育アドバイザー)についてのお問い合わせ先
全国花育活動推進協議会 ウェブサイト：<http://www.hanaiku.gr.jp>

フラワーコンテナと 寄せ植え作り



1 生活を豊かにする造形活動

2 フラワーコンテナをつくろう!

3 板を切ろう!

4 色を塗り、組み立てよう!

5 テーマに合った寄せ植えをしよう!

6 生活の中で使い、楽しみ・喜びにつなげよう!

板材を用いて、グループでテーマを決め、フラワーコンテナをつくろう。
*自作のコンテナにいろいろな植物を選び、テーマに合った季節の寄せ植えをしよう。

年 組 名 前

1 生活を豊かにする造形活動

小学校で行われる様々な造形活動

★見たり作ったりしたことがある活動 に
○か×をつけてみましょう。

自分が作ったものや
友達が作ったもの
いろいろあるね!



クラフト紙を
使ってバック



牛乳パックを
使って貯金箱



松ぼっくりを
使ってツリー



紙粘土を
使ってピン人形



ペットボトルや牛乳パックを
使って花瓶



風船を
使って人形



木や粘土を
使って鳥



板材を
使って人形



ブリキ等の金物を
使って置物



2 フラワーコンテナをつくろう!

(1) 材料を使って、フラワーコンテナをつくろう。

- ① グループを作り、どんなコンテナを作るかテーマを決める。
- ② 箱形の板の組み立て方を知る。
- ③ 話しあったことをもとにスケッチをする。

学校が明るく楽しい
雰囲気になる
デザインを考えよう!

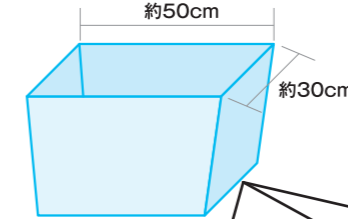
材 料

- ベニヤ板
- 杉板
- 垂木(たるき)
- ねじ(くぎは、抜けやすい)

テーマ例

- 動物
 - 花車
 - 野菜
 - 乗り物 など
- デザインは、グループごとに考えよう。

コンテナの大きさ



植物を植える場所は、約50cm×30cmぐらいを
目安に作りましょう。

※鉢の底には、水抜き用の穴をあける。キッチンネットなどを穴の上に
置くと土が穴からこぼれない。



テーマを決めて、色々なフラワーコンテナを作ってみよう

どんなフラワーコンテナを作りたいか書いてみよう

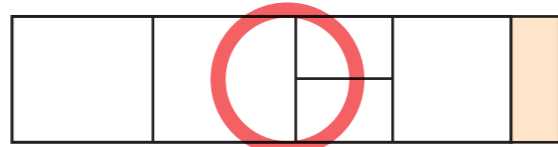
3 板を切ろう!

- 限られた材料を無駄にしないように、木取りをしよう。
- 用途に合った用具の選択や安全な使い方をしよう。

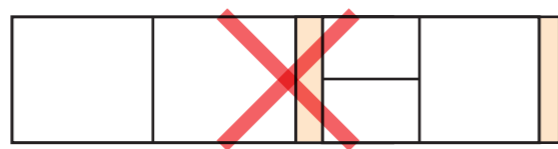


鉛筆やチョークで印を付けよう。

木のはしから印をつけよう!



はしから木取りをして、最後にあまりが出る。



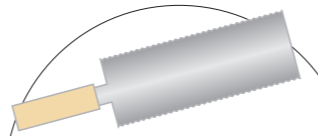
途中にあまりができると、切るのに時間がかかりあまりも使いにくい。



曲線は、糸鋸盤を使って切ろう。



直線は、のこぎりで切ろう。



のこぎりを使うときは、木が動かないようにしっかりおさえよう!

いろいろな形ができているね。
みんなで工夫したところを見つけて話しあってみよう。



ドライバードリルでネジをとめよう。

ワンポイントアドバイス

くぎは、抜けやすいので使わずに、電動ドリルを使ってネジでとめよう!



4 色を塗り、組み立てよう!

ここここを合わせるといいね!



僕は色を塗るよ。



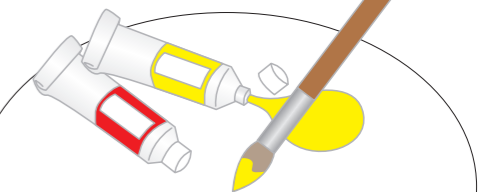
私は、ひよこをつけるね。



錐(キリ)で穴をあけよう。

ドライバードリルでネジを入れるよ。

細かいところは最後にじっくり塗ろう。



絵の具はアクリル絵の具を使います。
※水性絵の具は、水にぬれるとにじんでしまいます。

デザインによって…

色を塗ってから



組み立てる

または

組み立ててから



色を塗る

5 テーマに合った寄せ植えをしよう!

- ① ゲストティーチャー(花の専門家)の方から植物の花の名前や特徴、植え方などの説明を聞こう。

特徴をつかもう

- ・上に大きくなるもの
- ・横に広がるもの
- ・下に下がるもの
- ・つるのように伸びるもの
- ・花物
- ・球根

植え方のワンポイントアドバイス

- ・主木になる木
- ・ラインの植物
- ・つる植物
- ・葉もの
- ・1年草の花

※色を同系色でまとめるときれい。
 ※作ったコンテナの特徴を表現しよう。
 例) くじらの潮を表現するような植物を選ぶ。



- ② テーマに合った植物をグループの人と相談して選ぼう。

植物について

- 寄せ植えの主木
- 葉物
- つる植物
- 花物 ※季節の花を選びましょう。



コニファーなど



シロタエギク



ワイルドストロベリー



アイビーなど



パンジー



ネメシア



プリムラ

- ③ 培養土・鉢底石を入れ、花の植え付けを行おう。

寄せ植えに準備するもの

- 培養土(土)



- 鉢底石



ポット苗は、やさしく持って逆さにします。片方の手で、プラスチックのポットをぬきます。



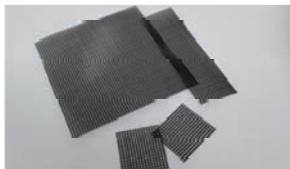
- コンテナ



- 肥料



- 鉢底ネット



- 土を入れるカップ



- 軍手



- ビニールシート



- シャベル



- バケツ



これくらいかな?



土をしっかり押さえよう。植物の配置を考えてから植えなくちゃ。



牛乳パックを使って土を入れよう。

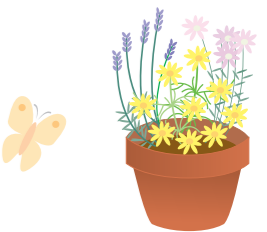
主木を植えたから、次は花を植えよう。

- ④ 感想などをワークシートに書いておこう。



〈完成したオリジナルコンテナの寄せ植え〉

完成したら、P8.のワークシートに植えた花や植物の名前を記録しよう。



6 生活の中で使い、楽しみ・喜びにつなげよう!



会場の色々な場所に置くと作品がはえるね。

展示会の作品として飾ろう



展示会場の入り口付近に置くとたくさんの方に観賞してもらえね。

学校を明るく楽しい雰囲気になよう

校門の近くの通路に置くと全校児童がみてるね。



仮校舎の学校でも美しいコンテナを並べるときれいな学校になるよ。

自分がつくったコンテナで花を育て、育てる楽しさや喜びを感じよう!

フラワーコンテナと寄せ植え

フラワーコンテナの名前

月 日



〈植えた花や植物の名前や特徴を書こう〉

名前 花や葉の色

1.

2.

3.

4.

5.

6.

7.

一緒に作った
メンバーの名前

寄せ植えを作る時に、工夫したことや考えたこと・感じたことなどを書きましょう。



フラワーコンテナと寄せ植え作り (10時間)

【教科】6年 図工
内容 A 表現(2)
B 鑑賞(1)

- 1.目標：・友だちと話し合いながら、板材を生かして形や色を工夫してつくる。
・オリジナルフラワーコンテナを生かした寄せ植え作りを楽しむ。
・友達や自分のオリジナルフラワーコンテナのよさを味わう。

- 2.題材について：本題材では、板材を用いて3人一組でフラワーコンテナをつくる。6年生は最後の展覧会となるので、グループで協力して大きな作品に挑戦させたいと考えた。また、本校は校舎改築中であることから、自分たちの作品で学校を明るく楽しい雰囲気にならせようとして提案した。完成したコンテナを学校内に設置し、見る人を意識して制作することにより、よりよいものをつくらうとする意欲が高まると考えた。そして、コンテナに寄せ植えを行うことにより心を和ませ、手がけた充実感を味わわせることを期待している。

3.展開

〈 〉観点

	児童の活動・発問	教師の支援(留意点)	評価・探求のポイント
90分	<p>学校が明るく楽しい雰囲気になるようなフラワーコンテナをつくろう。</p> <p>〈副読本P1・P2〉</p> <p>1.生活を豊かにする造形活動。 2.フラワーコンテナをつくろう。</p> <p>■板材を使ってフラワーコンテナをつくり、寄せ植えをして学校内に設置することを知る。</p> <p>■箱形の板の組み立て方を知る。</p> <p>■アイデアスケッチを行う。グループで話し合ったことを基にスケッチをし、計画を立てる。</p> <p>・どんなフラワーコンテナにしようかな。 ・このアイデアいいね。 ・こういう形に花が入るとおもしろいね。</p>	<p>・3人一組のグループをつくっておく。</p> <p>・完成したコンテナには、講師に指導をしていただきながら寄せ植えを行うことを話す。</p> <p>・アイデアスケッチの細かい部分は途中で変わってもよいことを話す。</p>	<p>〈関・意・態〉</p> <p>・フラワーコンテナをつくることに興味をもっている。</p> <p>〈発想と構想の能力〉</p> <p>・グループで話し合いながら、学校が明るく楽しくなるようなデザインを考えている。</p>

90分	<p>〈副読本P4〉 3. 板を切ろう ■板に切り線を引く。</p> <p>■板を切断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲線は糸のこ盤、直線はのこぎりで切る。 ・ 板が厚いから糸のこ盤で切るときはゆっくり切ろう。 ・ 板をのこぎりで切る人は途中で交代しながらやろう。 <p>■軽くやすりがけをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 描き直しをする可能性がある時はチョークを用いるとよい。 ・ 限られた材料を無駄にしないように木取りをさせる。 ・ グループで話し合い、分担して行うことを話す。 ・ 用途に合った用具の選択や安全な使い方の確認をする。 ・ 板の厚みを考慮して箱型にするのは難しいので、切る前に寸法や組み合わせ方を必ず確認する。 	<p>〈創造的な技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表したいことに合わせて用具を選択し、適切に扱っている。 <p>〈発想と構想の能力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いながら見通しをもって活動している。
180分	<p>〈副読本P5〉 4. 色を塗り、組み立てよう。 ■色を塗る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花や植物がより美しく見える色を考える。 ・ 花の色が引き立つように、派手な色はたくさん使わないようにしましょう。 ・ この色にはこういう色の花が合いそうだね。 <p>■組み立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ きりで下穴を開けてから、ドライバードリルを用いてねじ止めをする。 ・ ドライバードリルを使うのは初めは難しかったけど、だんだんできるようになってきたね。 <p>■水抜き穴を開ける。 ■底上げをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色塗りと組み立ての順番は、デザインによって異なるので、グループで考えさせる。 ・ アクリル絵の具(耐水性)を用いる。 ・ 水を使用するので、抜けないようにねじを用いる。 ・ ドライバードリルを初めて使用する時は、練習をしてから用いる。 ・ 水抜き穴を忘れずに開けさせる。 ・ コンテナの底が痛まないように、垂木を接着する。 	<p>〈創造的な技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 板材を生かしながら、イメージに合わせて色や形を工夫している。 ・ 表したいことに合わせて用具を選択し、適切に扱っている。
90分	<p>〈副読本P6〉 5. テーマに合った寄せ植えをしよう。</p> <p>自分たちでつくったコンテナに寄せ植えをしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に講師と打ち合わせを十分しておく。(人数、花の種類、活動場所、時間、準備等) 	<p>〈鑑賞の能力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達や自分のコンテナのよさを味わう。

90分	<p>■植物の特徴や植え方の説明を講師から聞く。</p> <p>■グループで相談して植物を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふわっとした感じにしたいからあの花にしよう。 ・ 噴水のようにしたいからあの植物を使おう。 <p>■植え付けを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このあたりに背の高い植物を植えよう。 ・ 植物を植えるとコンテナが生き生きとして見えて、想像していたよりもすてきだね。 <p>〈副読本P8〉</p> <p>■ワークシートを書こう。</p> <p>■校内に設置する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちのテーマにあった植物を選ぶようにさせる。 ・ 植物の伸び方の特徴なども考慮して選ぶ。 ・ ポイントになるもの、高さがあるもの、動きがあるもの等を造形的に組み合わせて考えさせる。 ・ 植込みの位置や土の入り具合を確認させる。 ・ 特に、植物との間に土が入っているか確認する。 ・ 図工以外の教科(国語や理科など)でワークシートを使ってもよい。 	
-----	--	---	--

指導に当たって

事前に行っておくこと

- ・テーマにふさわしい花選びと寄せ植え作りについての話をしてもらうために、外部アドバイザーに依頼するとよい。児童数によってアシスタントをお願いすることもできる。児童が作ったコンテナを使い、テーマに合った花を寄せ植えをすることは、花に対する意識や関心が高まるので是非活用したい。
- ・寄せ植えをしたあとの水やり等の管理があるので、クラス担任と十分に話し合いをしてから制作する。
- ・この活動を行うに当たっては、板材を集めてたり花の予算を計上したりしておかなければならない。

実施時期

- ・1年を通して、季節の花を使用すれば時期はいつでも可能である。しかしグループで行う大がかりな活動なので、展覧会・周年行事・入学式・卒業式等がお勧めである。多くの人に鑑賞してもらうことにより自分達の作品のよさが評価され、手作りコンテナの充実感を味わうことができる。また、多くの他の児童にとっても、日々の学校生活の中で目に触れ、楽しい雰囲気させてくれる。

花の種類

- ・外部アドバイザー（植物の専門家）に依頼すれば、時期やテーマに合った種類の植物調達が可能である。
- ・テーマに合ったものが表現できるようにいろいろな植物を用意できるようにする。

実施場所

- ・外の広い場所が好ましい。また天候が悪い場合は、体育館などにシートを敷いて行うとよい。

その他

- ・校舎改築中など、花壇等が使用できない時、学習環境の整備にもなる。
 - ・中学年で行う時は、木材の代わりに発砲スチロール等で行うことができる。
 - ・総合的な学習で行ったり特活で扱ったりしてもよい。
-
- ・外部アドバイザー（花育アドバイザー）についてのお問い合わせ先
全国花育活動推進協議会 ウェブサイト：<http://www.hanaiku.gr.jp>

「花育活動図鑑」参考データ一覧

- 基本的な花と緑の知識 「花づくり 土づくり」
- 花ごよみ 366 「花ことば・誕生花」
- 季節の行事と花
- 漢字でみる植物の名前
- 全国の植物園一覧
- 生活と花と緑のQ&A
- 植物に関するQ&A
- 花育アドバイザー協力申し込みに関すること

参考データは、「花育」ウェブサイト『花育資料集』からダウンロードしてご使用ください。
<http://www.hanaiku.gr.jp>



育てる楽しさ、
花咲くよろこび。

全国花育活動推進協議会

<http://www.hanaiku.gr.jp>